

議長	副議長	事務局長	書記
			



政務活動費実績報告書

令和 8 年 2 月 3 日

富谷市議会議員 畑山 和晴 殿

会派名

代表者氏名

議員名

長谷川 る美 

下記のとおり政務活動費を使用したので富谷市議会政務活動費運用指針の規定により、次のとおり報告します。

記

使 途	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動
実施期間	令和 8 年 / 月 27 日 (火) ~ 令和 8 年 / 月 29 日 (木)			
実施場所	横浜市交通局 相模原役所 音楽サービス「Melodies」 はとるる農園愛川			
出席(参加)者名	荒谷 敏 長谷川 る美 須藤 義			
実施(調査)成果	別紙参照,			
行 程	(計画と変更がある場合記載)			

※各欄に記載できない場合、別紙添付により提出も可能。



政務活動費 実績報告書 実施成果

1. 視察日時

2026年1月27日(火)

午後2時～午後3時

2. 視察場所

横浜市役所

(横浜市交通局 自動車本部 営業課)

3. 視察先

横浜市交通局 自動車本部 営業課

4. 視察内容

連結バス「ベイサイドブルー」事業の概要、導入経緯、運行体制、効果及び課題について

5. 視察目的

富谷市においては、高齢化の進展や公共交通の担い手不足などにより、将来を見据えた交通施策の検討が求められている。

横浜市が導入している連結バス「ベイサイドブルー」は、大量輸送と定時性を両立させた先進的な取組であることから、その事業内容や効果、課題について調査し、本市の交通政策検討の参考とすることを目的に視察を行った。

6. 事業概要

連結バス「ベイサイドブルー」は、2両を連結した高容量バス車両で、横浜駅周辺と臨海部(みなとみらい地区)を結ぶ路線で運行されている。

一度に多くの乗客を輸送できる点や、鉄道と比べて導入コストを抑えられる点、路線変更の柔軟性を有する点が特徴であり、市民利用に加え観光需要にも対応した公共交通として活用されている。

7. 視察を通じて確認した点

混雑緩和や輸送効率の向上といった効果が見られる一方、車両の大型化に伴う走行環境や停留所整備、運転技術の習熟、安全対策、運行コストなどの課題についても説明を受けた。

8. 所感

連結バス「ベイサイドブルー」は、公共交通をまちづくりや地域の魅力向上と一体的に捉えた取組であり、交通施策の新たな可能性を示す事例であると感じた。

富谷市において同様の導入は容易ではないが、将来の公共交通のあり方を検討する上で、需要に応じた柔軟な交通手法や公共交通の価値向上という視点は大いに参考となる。今後の本市の交通政策検討に活かしていきたい。

## 政務活動費 実績報告書 実施成果

### 1. 視察日時

2026年1月28日(水)

午前10時～午前11時30分

### 2. 視察場所

相模原市役所

### 3. 視察先

相模原市 教育委員会関係部署

### 4. 視察内容

- ・相模原市における学校現場の働き方改革について
- ・第2期 学校現場における業務改善に向けた取組方針
- ・若手教員による学校現場改善プロジェクト提言書
- ・ICTおよび民間事業者活用の事例と成果

### 5. 視察目的

教員の長時間勤務や人材確保が全国的な課題となる中、学校現場の働き方改革は喫緊の課題であると認識している。本市においても、教職員が子どもと向き合う時間を確保し、教育の質を維持・向上させるため、業務改善や外部資源活用の取組が求められていると感じている。そのため、先進的な取組を進める相模原市の事例を調査し、本市の教育行政施策検討の参考とすることを目的として視察を行った。

### 6. 視察内容の概要

相模原市では、第2期業務改善方針に基づき、業務の削減・効率化・重点化を進め、教育委員会と学校現場が一体となった働き方改革に取り組んでいる。

また、若手教員が主体となって学校現場の課題や改善策を提言書としてまとめ、教育委員会に提案する仕組みが構築されており、現場の声を改革に反映させている点が特徴的であった。

さらに、ICTの活用や民間事業者への業務委託により、教員の事務負担軽減や業務効率化が図られ、教育活動に専念できる環境整備が進められている。

### 7. 所感

今回の視察を通じ、学校現場の働き方改革を進めるには、制度面の整備に加え、現場教員の参画とICT・民間資源の活用が重要であることを再認識した。

特に、若手教員による改善提言の取組は、現場の実情を反映した実効性の高い手法であり、本市においても参考とすべき事例である。

本視察で得られた知見を、今後の本市における教育環境の改善及び教職員の働き方改革の検討に活かしていきたい。

政務活動費 実績報告書 実施成果

1. 視察日時

2026年1月28日(水)

午後1時30分より

2. 視察場所

相模原市中央区並木4丁目

音楽療法・音楽デイサービス「メロディーズ」

3. 視察先

音楽療法・音楽デイサービス

メロディーズ

4. 視察内容

認知症予防および心身機能の維持・向上を目的とした音楽療法の取組について  
(音楽療法プログラムの内容、利用者への効果、運営体制等)

5. 視察目的

高齢化の進展に伴い、認知症対策や介護予防は自治体にとって重要な課題である。  
非薬物療法として注目される音楽療法について、実際の取組内容や運営実態を調査し、本市における高齢者施策・認知症施策検討の参考とすることを目的として視察を行った。

6. 視察内容の概要

メロディーズでは、音楽を活用した独自のプログラムにより、利用者の意欲向上や情緒の安定、身体機能の維持を目指した支援が行われている。

利用者が能動的に参加できる工夫がなされており、表情の変化や発語の増加など、一定の効果が現場として実感されているとの説明を受けた。

一方で、同施設の音楽療法については、国や自治体からの補助制度はなく、行政との連携も行われていない現状が示された。

7. 所感

音楽療法は、認知症対策や介護予防において有効性が期待される取組であるにもかかわらず、制度的な支援や行政との連携がなく、事業者の自主的努力に依存している点に強い問題意識を持った。

本市においても、医療・介護保険制度の枠にとらわれず、効果が期待される非薬物的アプローチについて、民間事業者との連携や支援のあり方を検討していく必要があると感じた。

政務活動費 視察実績報告書 実施成果

1. 視察日時

2026年（令和8年）1月29日（木）

午前9時から午前11時まで

2. 視察場所

神奈川県愛甲郡愛川町

3. 視察先

ハートフル農園愛川

4. 視察内容

障がい者の就労支援および自立支援を目的とした農園型障がい者雇用支援施設「ハートフル農園愛川」を訪問し、施設運営の仕組み、就労支援体制、作業内容、収入モデル等について説明を受けるとともに、作業現場の視察を行った。

5. 視察目的

障がい者が地域の中で自立し、継続的に働くことができる仕組みを調査し、本市における障がい者雇用施策、農福連携、遊休地の有効活用に関する政策立案の参考とするため。

6. 事業概要

ハートフル農園愛川は、農業を活用した障がい者の一般就労支援を行う施設であり、福祉、農業指導、管理が連携した支援体制を構築している。自治体通信では、遊休地を活用し障がい者の自立を支える取組として紹介され、一般就労の場として月額約15万円の収入を想定したモデルが評価されている。また、週刊ダイヤモンドウィークリーにおいても、働きたいという思いを実現する進化した農園型障がい者雇用支援サービスとして取り上げられている。

7. 視察を通じて確認した点

障がい特性に応じた作業分担と就労環境の整備、福祉・農業・管理が連携した支援体制により、安定した就労と収入確保が図られていること、また事業として成立する仕組みが構築されている点を確認した。

8. 所感

本視察により、障がい者雇用においては福祉の支援にとどまらず、事業性を伴う仕組みづくりが自立と就労継続につながることを認識した。本市においても、障がい者雇用の拡充や、農業と福祉が手を組んで働きづらい人の仕事や居場所を作る取り組み、さらに、遊休地活用の施策検討に活かしていきたい。